



## CHAPTER 3

# CTMS File コマンド

---

この章では、次の Cisco TelePresence Multipoint Switch (CTMS) file CLI コマンドについて説明します。CTMS CLI コマンドの使用の詳細については、このマニュアルの「Cisco TelePresence Multipoint Switch CLI コマンドの使用」を参照してください。

- 「file delete activelog」 (P.3-3)
- 「file delete inactivelog」 (P.3-4)
- 「file delete install」 (P.3-5)
- 「file dump activelog」 (P.3-6)
- 「file dump inactivelog」 (P.3-7)
- 「file dump install」 (P.3-8)
- 「file get activelog」 (P.3-9)
- 「file get inactivelog」 (P.3-10)
- 「file get install」 (P.3-11)
- 「file list activelog」 (P.3-12)
- 「file list inactivelog」 (P.3-13)
- 「file list install」 (P.3-14)
- 「file list sftpdetails」 (P.3-15)
- 「file search activelog」 (P.3-16)
- 「file search inactivelog」 (P.3-17)
- 「file search install」 (P.3-18)
- 「file tail activelog」 (P.3-19)
- 「file tail inactivelog」 (P.3-20)
- 「file tail install」 (P.3-21)
- 「file view activelog」 (P.3-22)
- 「file view inactivelog」 (P.3-23)
- 「file view install」 (P.3-24)
- 「file view system-management-log」 (P.3-25)



(注)

---

CTMS Administration ソフトウェアの使用方法の詳細については、次の URL に掲載されている『*Cisco TelePresence Multipoint Switch Release 1.5 Administration Guide*』を参照してください。  
[http://www.cisco.com/en/US/products/ps7315/prod\\_maintenance\\_guides\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps7315/prod_maintenance_guides_list.html)

---

# file delete activelog

**file delete activelog *file-spec* [det] [noconfirm]**

シンタックスの説明		
<i>file-spec</i>		削除するファイルの名前。 <i>file-spec</i> では、アスタリスク (*) をワイルドカードとして使用できます。
<b>det</b>		削除するファイルの詳細情報を指定します。
<b>noconfirm</b>		

**コマンドモード** Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.5	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** アクティブ側のロギング領域にある 1 つ以上のファイルを削除するために使用します。



**(注)** 使用中のファイルを削除することはできません。

**例**

```
admin:file delete activelog platform/log/*.log det noconfirm
deleting file : platform/log/cli00001.log
deleting file : platform/log/cli00002.log
deleting file : platform/log/cli00003.log
deleting file : platform/log/cli00004.log
files:          found = 4, deleted = 4
```

# file delete inactivelog

`file delete inactivelog file-spec [det] [noconfirm]`

シンタックスの説明	
<i>file-spec</i>	削除するファイルの名前。 <i>file-spec</i> では、アスタリスク (*) をワイルドカードとして使用できます。
<b>det</b>	削除するファイルの詳細情報を指定します。
<b>noconfirm</b>	

コマンドモード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.5	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン 非アクティブ側のロギング領域にある 1 つ以上のファイルを削除するために使用します。



(注) 使用中のファイルを削除することはできません。

例

```
admin:file delete inactivelog platform/log/*.log det noconfirm
deleting file : platform/log/cli00001.log
deleting file : platform/log/cli00002.log
deleting file : platform/log/cli00003.log
deleting file : platform/log/cli00004.log
files:          found = 4, deleted = 4
```

# file delete install

**file delete install *file-spec* [det] [noconfirm]**

シンタックスの説明		
<i>file-spec</i>		削除するファイルの名前。 <i>file-spec</i> では、アスタリスク (*) をワイルドカードとして使用できます。
<b>det</b>		削除するファイルの詳細情報を指定します。
<b>noconfirm</b>		

**コマンドモード** Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.5	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** インストール側のロギング領域にある 1 つ以上のファイルを削除するために使用します。



**(注)** 使用中のファイルを削除することはできません。

**例**

```
admin:file delete install platform/log/*.log det noconfirm
deleting file : platform/log/cli00001.log
deleting file : platform/log/cli00002.log
deleting file : platform/log/cli00003.log
deleting file : platform/log/cli00004.log
files:          found = 4, deleted = 4
```

# file dump activelog

**file dump activelog** *file-spec* [**expression** | **recent**]

## シンタックスの説明

<b>file-spec</b>	ダンプするファイルの名前。
<b>expression</b>	ダンプするファイルの 16 進数の識別名。
<b>recent</b>	ディレクトリで最近変更されたファイルをダンプします。

## コマンドモード

Admin

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
1.5	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

アクティブ側のロギング領域にあるファイルの内容をダンプするために使用します。

## 例

```
admin:file dump activelog platform/log/cli00001.log
2005-08-03 15:01:39,482 INFO [main] - Startup of CLI
Getting XML configuration file
....
```

# file dump inactivelog

`file dump inactivelog file-spec [expression | recent]`

シンタックスの説明	<i>file-spec</i>	ダンプするファイルの名前。
	<b>expression</b>	ダンプするファイルの 16 進数の識別名。
	<b>recent</b>	ディレクトリで最近変更されたファイルをダンプします。

コマンド モード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.5	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン 非アクティブ側のロギング領域にあるファイルの内容をダンプするために使用します。

例

```
admin:file dump inactivelog platform/log/cli00001.log
2005-08-03 15:01:39,482 INFO [main] - Startup of CLI
Getting XML configuration file
....
```

# file dump install

**file dump install** *file-spec* [**expression** | **recent**]

## シンタックスの説明

<i>file-spec</i>	ダンプするファイルの名前。
<b>expression</b>	ダンプするファイルの 16 進数の識別名。
<b>recent</b>	ディレクトリで最近変更されたファイルをダンプします。

## コマンドモード

Admin

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
1.5	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

インストール側のロギング領域にあるファイルの内容をダンプするために使用します。

## 例

```
admin:file dump install install.log page
12/09/2005 17:43:54 anaconda|===== Starting Installation
=====|<LVL::Info>
12/09/2005 17:43:54 anaconda|Starting anaconda script|<LVL::Info>
....
```



# file get activelog

`file get activelog file-spec [reltime | abstime | match | recurs]`

シンタックスの説明	説明
<i>file-spec</i>	取得するファイルの名前。 <i>file-spec</i> では、アスタリスク (*) をワイルドカードとして使用できます。
<b>reltime</b>	フィルタする相対時間。形式は、月数/週数/日数/時間数/分数です。
<b>abstime</b>	フィルタする絶対時間。形式は、hh:mm:MM/DD/YY hh:mm:MM/DD/YY です。
<b>match</b>	フィルタする検索パターン。
<b>recurs</b>	<i>file-spec</i> とサブディレクトリにあるすべてのファイルを収集します。

コマンドモード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.5	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン アクティブ ログ ファイルを取得するために使用します。

例 `admin:file get activelog platform abstime 00:00:12/01/04 01:00:12/30/04`

# file get inactivelog

`file get inactivelog file-spec [reltime | abstime | match | recurs]`

シンタックスの説明	説明
<i>file-spec</i>	取得するファイルの名前。 <i>file-spec</i> では、アスタリスク (*) をワイルドカードとして使用できます。
<b>reltime</b>	フィルタする相対時間。形式は、月数/週数/日数/時間数/分数です。
<b>abstime</b>	フィルタする絶対時間。形式は、hh:mm:MM/DD/YY hh:mm:MM/DD/YY です。
<b>match</b>	フィルタする検索パターン。
<b>recurs</b>	<i>file-spec</i> とサブディレクトリにあるすべてのファイルを収集します。

コマンドモード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.5	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン 非アクティブ ログ ファイルを取得するために使用します。

例 `admin:file get inactivelog platform abstime 00:00:12/01/04 01:00:12/30/04`

# file get install

`file get install file-spec [reltime | abstime | match | recurs]`

シンタックスの説明	説明
<i>file-spec</i>	取得するファイルの名前。 <i>file-spec</i> では、アスタリスク (*) をワイルドカードとして使用できます。
<b>reltime</b>	フィルタする相対時間。形式は、月数/週数/日数/時間数/分数です。
<b>abstime</b>	フィルタする絶対時間。形式は、hh:mm:MM/DD/YY hh:mm:MM/DD/YY です。
<b>match</b>	フィルタする検索パターン。
<b>recurs</b>	<i>file-spec</i> とサブディレクトリにあるすべてのファイルを収集します。

コマンドモード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.5	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン 非アクティブ ログ ファイルを取得するために使用します。

例 `admin:file get install platform abstime 00:00:12/01/04 01:00:12/30/04`

# file list activelog

file list activelog *file-spec* [page] [detail] [reverse] [date] [size]

## シンタックスの説明

<i>file-spec</i>	ファイルの名前。 <i>file-spec</i> では、アスタリスク (*) をワイルドカードとして使用できます。
<b>page</b>	出力を一時停止します。
<b>detail</b>	詳細なリストを表示します。
<b>reverse</b>	リストを逆のソート順で表示します。
<b>date</b>	リストを日付でソートします。
<b>size</b>	リストをファイル サイズでソートします。

## コマンド モード

Admin

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
1.5	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

アクティブ ログファイルのリストを表示するために使用します。

## 例

```
admin:file list activelog platform detail
13 Dec,2005 14:23:59 <dir> cli
13 Dec,2005 14:23:59 <dir> drf
13 Dec,2005 14:23:59 <dir> log
13 Dec,2005 14:23:59 <dir> temp
09 Dec,2005 17:54:33 12,583 servm_startup.log
dir count = 4, file count = 1
```

Press <enter> for 1 line, <space> for one page, or <q> to quit

# file list inactivelog

**file list inactivelog** *file-spec* [**page**] [**detail**] [**reverse**] [**date**] [**size**]

シンタックスの説明	<i>file-spec</i>	
	<i>file-spec</i>	ファイルの名前。 <i>file-spec</i> では、アスタリスク (*) をワイルドカードとして使用できます。
	<b>page</b>	出力を一時停止します。
	<b>detail</b>	詳細なリストを表示します。
	<b>reverse</b>	リストを逆のソート順で表示します。
	<b>date</b>	リストを日付でソートします。
	<b>size</b>	リストをファイル サイズでソートします。

コマンド モード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.5	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン 非アクティブ ログファイルのリストを表示するために使用します。

例

```
admin:file list inactivelog platform detail
01 Dec,2005 14:43:34 <dir> cli
01 Dec,2005 14:43:34 <dir> drf
01 Dec,2005 14:43:34 <dir> log
01 Dec,2005 14:43:34 <dir> temp
01 Dec,2005 16:54:33 12,583 servm_startup.log
dir count = 4, file count = 1
```

# file list install

`file list install file-spec [page] [detail] [reverse] [date] [size]`

## シンタックスの説明

<b>file-spec</b>	ファイルの名前。 <i>file-spec</i> では、アスタリスク (*) をワイルドカードとして使用できます。
<b>page</b>	出力を一時停止します。
<b>detail</b>	詳細なリストを表示します。
<b>reverse</b>	リストを逆のソート順で表示します。
<b>date</b>	リストを日付でソートします。
<b>size</b>	リストをファイル サイズでソートします。

## コマンド モード

Admin

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
1.5	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

インストール ログファイルのリストを表示するために使用します。

## 例

```
admin:file list install * detail
09 Dec,2005 17:54:33      140 capture.txt
09 Dec,2005 17:50:43    20,506 install.err
13 Dec,2005 14:02:58    230,018 install.log
09 Dec,2005 17:47:53    21,634 ks.cfg
09 Dec,2005 17:47:53     208 partAlloc
```

# file list sftpdetails

file list sftpdetails *file-spec* [page] [detail] [reverse] [date] [size]

シンタックスの説明	<i>file-spec</i>	ファイルの名前。 <i>file-spec</i> では、アスタリスク (*) をワイルドカードとして使用できます。
	<b>page</b>	出力を一時停止します。
	<b>detail</b>	詳細なリストを表示します。
	<b>reverse</b>	リストを逆のソート順で表示します。
	<b>date</b>	リストを日付でソートします。
	<b>size</b>	リストをファイル サイズでソートします。

コマンド モード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.5	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン sftp 関連のファイルまたはディレクトリの内容のリストを表示するために使用します。

例  
admin:file list sftpdetails known\_hosts  
known\_hosts  
dir count = 0, file count = 1

# file search activelog

`file search activelog file-spec reg-exp [reltime | abstime] [ignorecase] [recurs]`

## シンタックスの説明

<i>file-spec</i>	検索するファイルの名前。 <i>file-spec</i> では、アスタリスク (*) または疑問符 (?) をワイルドカードとして使用できます。
<i>reg-exp</i>	検索する正規表現。
<b>reltime</b>	相対時間の間に変更されたファイルを検索します。このフィールドの形式は、月数/週数/日数/時間数/分数です。
<b>abstime</b>	指定の時間範囲内に変更されたファイルを検索します。このフィールドの形式は、hh:mm:MM/DD/YY hh:mm:MM/DD/YY です。
<b>ignorecase</b>	大文字と小文字を区別しません。
<b>recurs</b>	サブディレクトリで再帰的にパターンを検索します。

## コマンド モード

Admin

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
1.5	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

特定の「正規表現」についてアクティブ側のロギング ファイルの内容を検索し、一致する行を表示するために使用します。

## 例

```
admin:file search activelog platform/log/platform.log Err[a-z] ignorecase
```



# file search inactivelog

file search inactivelog *file-spec* *reg-exp* [*reltime* | *abstime*] [*ignorecase*] [*recurs*]

シンタックスの説明		
<i>file-spec</i>		検索するファイルの名前。 <i>file-spec</i> では、アスタリスク (*) または疑問符 (?) をワイルドカードとして使用できます。
<i>reg-exp</i>		検索する正規表現。
<b>reltime</b>		相対時間の間に変更されたファイルを検索します。このフィールドの形式は、月数/週数/日数/時間数/分数です。
<b>abstime</b>		指定の時間範囲内に変更されたファイルを検索します。このフィールドの形式は、hh:mm:MM/DD/YY hh:mm:MM/DD/YY です。
<b>ignorecase</b>		大文字と小文字を区別しません。
<b>recurs</b>		サブディレクトリで再帰的にパターンを検索します。

コマンド モード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.5	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** 特定の「正規表現」について非アクティブ側のロギング ファイルの内容を検索し、一致する行を表示するために使用します。

**例** admin:file search inactivelog platform/log.platfom.log Err[a-z] ignorecase

# file search install

`file search install file-spec reg-exp [reltime | abstime] [ignorecase] [recurs]`

## シンタックスの説明

<i>file-spec</i>	検索するファイルの名前。 <i>file-spec</i> では、アスタリスク (*) または疑問符 (?) をワイルドカードとして使用できます。
<i>reg-exp</i>	検索する正規表現。
<b>reltime</b>	相対時間の間に変更されたファイルを検索します。このフィールドの形式は、月数/週数/日数/時間数/分数です。
<b>abstime</b>	指定の時間範囲内に変更されたファイルを検索します。このフィールドの形式は、hh:mm:MM/DD/YY hh:mm:MM/DD/YY です。
<b>ignorecase</b>	大文字と小文字を区別しません。
<b>recurs</b>	サブディレクトリで再帰的にパターンを検索します。

## コマンドモード

Admin

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
1.5	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

特定の「正規表現」についてインストール ログファイルの内容を検索し、一致する行を表示するために使用します。

## 例

```
admin:file search install install_post.log Err[a-z] page ignorecase
```

# file tail activelog

**file tail activelog** *file-spec* [*expression*] [**recent**]

シンタックスの説明	<i>file-spec</i>	末尾を表示するファイルの名前。
	<i>expression</i>	検索する表現。
	<b>recent</b>	ディレクトリで最近変更されたファイルの末尾を表示します。

**コマンド モード** Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.5	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** アクティブ側のロギング領域にある指定したファイルの末尾を表示するために使用します。

**例** 次の例では、ページ付けがイネーブルになっているファイルの末尾を、末尾 10 行から表示します。

```
admin:file tail activelog platform/log/cli00001.log page 10

2005-08-03 15:01:41,248 DEBUG [main] - cmdMVL size = 0
2005-08-03 15:01:41,248 INFO [main] - adding command in level3 (password/security)
2005-08-03 15:01:41,249 DEBUG [main] - begin for level4, topVL size = 0
2005-08-03 15:01:41,250 DEBUG [main] - begin for level4, topVL size = 0
2005-08-03 15:01:41,256 DEBUG [main] - begin for level3, topVL size = 0
2005-08-03 15:01:41,257 DEBUG [main] - begin for level2, topVL size = 0
2005-08-03 15:01:41,884 INFO [main] - merging complete
2005-08-03 15:06:27,619 INFO [main] - got to save history
2005-08-03 15:06:27,620 INFO [main] - Exiting CLI
```

# file tail inactivelog

**file tail inactivelog** *file-spec* [*expression*] [**recent**]

## シンタックスの説明

<i>file-spec</i>	末尾を表示するファイルの名前。
<i>expression</i>	検索する表現。
<b>recent</b>	ディレクトリで最近変更されたファイルの末尾を表示します。

## コマンドモード

Admin

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
1.5	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

非アクティブ側のロギング領域にあるファイルの末尾を表示するために使用します。

## 例

```
admin:file tail inactivelog platform/log/cli00001.log

2005-08-03 15:01:41,248 DEBUG [main] - cmdMVL size = 0
2005-08-03 15:01:41,248 INFO [main] - adding command in level3 (password/security)
2005-08-03 15:01:41,249 DEBUG [main] - begin for level4, topVL size = 0
2005-08-03 15:01:41,250 DEBUG [main] - begin for level4, topVL size = 0
2005-08-03 15:01:41,256 DEBUG [main] - begin for level3, topVL size = 0
2005-08-03 15:01:41,257 DEBUG [main] - begin for level2, topVL size = 0
2005-08-03 15:01:41,884 INFO [main] - merging complete
2005-08-03 15:06:27,619 INFO [main] - got to save history
2005-08-03 15:06:27,620 INFO [main] - Exiting CLI
```

# file tail install

**file tail install** *file-spec* [*expression*] [*recent*]

シンタックスの説明		
	<i>file-spec</i>	末尾を表示するファイルの名前。
	<i>expression</i>	検索する表現。
	<b>recent</b>	ディレクトリで最近変更されたファイルの末尾を表示します。

**コマンド モード** Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.5	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** インストール側のロギング領域にあるファイルの末尾を表示するために使用します。

**例** admin:**file tail install capture.txt**

```
inflating: Help/ccmcfq/CCM Administration Guide-23-6.html
inflating: Help/ccmcfq/CCM Administration Guide-23-7.html
inflating: Help/ccmcfq/CCM Administration Guide-23-8.html
inflating: Help/ccmcfq/CCM Administration Guide-24-1.html
```

# file view activelog

`file view activelog file-spec`

<b>シンタックスの説明</b>	<i>file-spec</i>	表示するファイルの名前。 <i>file-spec</i> では、1つのファイルを解決するだけに限り、アスタリスク (*) をワイルドカードとして使用できません。
------------------	------------------	---

<b>コマンドモード</b>	Admin
----------------	-------

<b>コマンドの履歴</b>	<b>リリース</b>	<b>変更内容</b>
	1.5	このコマンドが導入されました。

<b>使用上のガイドライン</b>	アクティブ側のロギング ファイルの内容を表示するために使用します。
-------------------	-----------------------------------

<b>例</b>	<code>admin:file view activelog platform/log/platform.log</code>
----------	--

# file view inactivelog

file view inactivelog *file-spec*

シンタックスの説明	<i>file-spec</i>	表示するファイルの名前。 <i>file-spec</i> では、1つのファイルを解決する場合には限り、アスタリスク (*) をワイルドカードとして使用できます。				
コマンドモード	Admin					
コマンドの履歴	<table><thead><tr><th>リリース</th><th>変更内容</th></tr></thead><tbody><tr><td>1.5</td><td>このコマンドが導入されました。</td></tr></tbody></table>	リリース	変更内容	1.5	このコマンドが導入されました。	
リリース	変更内容					
1.5	このコマンドが導入されました。					
使用上のガイドライン	非アクティブ側のロギング ファイルの内容を表示するために使用します。					
例	admin:file view inactivelog platform/log.platfom.log					

# file view install

`file view install file-spec`

<b>シンタックスの説明</b>	<i>file-spec</i>	表示するファイルの名前。 <i>file-spec</i> では、1つのファイルを解決するだけに限り、アスタリスク (*) をワイルドカードとして使用できません。
------------------	------------------	---

<b>コマンドモード</b>	Admin
----------------	-------

<b>コマンドの履歴</b>	<b>リリース</b>	<b>変更内容</b>
	1.5	このコマンドが導入されました。

<b>使用上のガイドライン</b>	インストール ログファイルの内容を表示するために使用します。
-------------------	--------------------------------

<b>例</b>	<code>admin:file view install install.log</code>
----------	--



# file view system-management-log

## file view system-management-log

**シンタックスの説明** なし

**コマンド モード** Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.5	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** Integrated Management Logs (IML) を表示するために使用します。

**例** `admin:file view system-management-log`

# delete account

`delete account name`

シンタックスの説明	<i>name</i>	削除する管理アカウントの名前
-----------	-------------	----------------

コマンド モード	Admin
----------	-------

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.5	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン	管理アカウントを削除するために使用します。
------------	-----------------------

例	admin: <code>delete account admin1</code>
---	---

# delete dns addr

`delete addr address`

シンタックスの説明	<i>address</i>	削除する Domain Name System (DNS; ドメイン ネーム システム) サーバの IP アドレス
-----------	----------------	---

コマンド モード	Admin
----------	-------

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.5	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** 指定したドメイン ネーム システム (DNS) サーバをシステムから削除するために使用します。

**例** admin: `delete dns addr 1xx.2xx.3xx.4xx`

# delete process

`delete process pid [force | terminate | crash]`

## シンタックスの説明

<i>pid</i>	プロセス識別番号。
<b>force</b>	プロセスを停止します。このオプションは、 <b>delete process pid</b> コマンドでプロセスを終了できない場合にだけ使用します。
<b>terminate</b>	オペレーティング システムにプロセスを停止するように指示します。このオプションは、 <b>delete process pid force</b> コマンドでプロセスを終了できない場合にだけ使用します。
<b>crash</b>	クラッシュ ダンプでプロセスをクラッシュします。

## コマンド モード

Admin

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
1.5	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

プロセスを削除するために使用します。

## 例

```
admin: delete process 1429
```